

主催：サロンLHS

共催：京都大学オープンイノベーション機構、京大オリジナル

第3回 サロンLHS

2021年3月26日（金） 18:00-20:00

Zoomウェビナー 参加費：無料

第3回参加登録 <https://bit.ly/3axCN2F>



デジタル **X** ヘルスケア ー医療と大規模データの活用ー

<話題提供>

京都大学大学院医学研究科
川上浩司 教授



ヘルスケア分野でも、各種の医療や健診の情報由来のデータベースを活用した疫学研究による医療や薬剤の評価や、予防医学が進歩しています。

今回は、その概況や事例について紹介します。

お問合せ：京都大学オープンイノベーション機構 庄境(しょうざかい)、櫻井
075-753-7763 sakurai.mika.5w@kyoto-u.ac.jp

サロンLHS(レフト)とは

発起人・幹事

京都大学 経済学研究科(依田高典)・情報学研究科(神谷之康)・医学研究科(川上浩司)

設立背景

近年、データサイエンス・人工知能が流行となり、文理融合・学際連携が盛んになっているが、京都大学内においては横の連携がまだまだ活発ではない状況にある。そこで、経済学研究科 依田高典教授、情報学研究科 神谷之康教授、医学研究科 川上浩司教授を当面の幹事とし、先端的な社会問題解決をはかる研究者同士の自由闊達な研究交流できるサロンLHS(レフト)を設立するに至った。

設立基本構想

<理念>

■**生命(Life)・人間(Human)・社会(Society)**を研究テーマとし、データサイエンス(Data Science)・人工知能(Artificial Intelligence)をツールとして活用し、先端的な社会問題解決をはかる研究者同士の自由闊達なサロンを目指す。

■サロンを通じて、イノベティブな研究創出・人材育成・産学連携を期待する。

<形態>

■経済学研究科(依田高典)・情報学研究科(神谷之康)・医学研究科(川上浩司)を当面の幹事として、幹事の責任で学内の研究者に声掛けを行いつつ、かつ、幹事の持ち回りで毎回の話題提供者を世話する。

■サロンでは文理融合・学際性を尊重し、自分たちの研究アプローチを異分野の研究者に紹介しつつ、かつ、相互に理解してもらうことを念頭に分かりやすい説明を心がける。

<開催等>

■サロンは隔月程度の開催として、1時間の話題提供と1時間の自由討議とする。

■新型コロナ・ウイルスの感染状況を睨み、当面はZOOM開催とし、リアルな開催が可能になっても、遠方からの参加が可能のように、オンラインの視聴参加の可能性は残す。

■2021年度からは協賛する企業から会費※を徴収し運営費に充てる。※年会費等、詳細は検討中

2021年度の概要が確定！

- 奇数月（5月、7月、9月、11月、1月、3月）の最終金曜日18～20時で開催。年間全6回開催。
- 各回、幹事の先生方がご推薦の話題提供者が登壇、研究者同士、企業の方との交流を実施。懇親会も実施予定。

▶**サロンA会員：パネリストとしてご参加可能、1企業3名まで参加可、個別相談回も実施【参加費30万円】**

▶**サロンB会員：視聴のみのご参加、1企業1名まで参加可、【参加費10万円】**

※右記ホームページオープン予定、情報を随時更新予定

<https://www.kyodai-original.co.jp/?p=10962>

※新型コロナ・ウイルスの感染状況を睨み、当面はZOOM開催を想定

※リアルな開催（京都大学内での開催）が可能になってもオンラインの視聴参加を可能な形で実施



- 第1回 2021年5月28日(金) 話題提供：京都大学ウイルス・再生医科学研究所 望月 敦史教授
演題：『生命システムの振る舞いをネットワークだけから決定する』
- 第2回 2021年7月30日(金) 話題提供：京都大学大学院文学研究科 大塚 淳准教授
演題：『統計学を哲学する：統計はなぜ科学的根拠になるのか』
- 第3回 2021年9月24日(金) 話題提供：京都大学大学院医学研究科 近藤 尚己教授
演題：『coming soon』

こんな事をお考えの
企業様の参加を
お待ちしております。

◎研究者間の研究交流の場である本サロンに参加し、最先端の研究成果を知ることにより、データサイエンス、人工知能の新たな使い道を検討している。

◎新規事業開発にデータサイエンス、人工知能を取り込みたい。

◎中長期的に社会問題、企業課題を解決できるテーマを探している。